

# ウィザス

No.113



芦屋市男女共同参画センター通信  
2024年 春号

With us

“共に生きる—男女共生社会—”の  
理念を表しています。

市民編集委員が

## 芦屋市長にインタビュー！



高島 岐輔 市長と  
センター通信「ウィザス」の市民編集委員

今回のトピックス

## 高島市長流、男女共同参画のススメカタ

**女**性の活躍推進・女性の意思決定過程への参画のため、重要な要素のひとつに女性リーダーの割合があります。

日本のジェンダー・ギャップ指数の世界ランキング（2023年）は、146か国中125位と過去最低であり、特に政治分野においては138位と最下位クラスでした。これは女性の政治家の少なさが影響しており、女性が意思決定過程へ参画することのハードルの高さを表しています。また経済分野においても、女性管理職の少なさや男女の賃金格差などが影響し、123位でした。

芦屋市においては、女性管理職（課長相当職以上）の割合が県内トップという現状がありますが、女性の声が市政に反映されているという実感はあるでしょうか。

ジェンダー平等を含む人権平等意識が高いアメリカのボストンで暮らした経験のある高島市長に、男女共同参画への思いを伺いました。（2面へつづく）

### CONTENTS

- 01 ■ 高島市長流、男女共同参画のススメカタ
- 02 ■ 市民編集委員の声「高島市長へのインタビュー」
- 03 ■ 講座レポート・講座のご案内
- 04 ■ お知らせ ■ 女性相談のご案内等 ■ 4コマ漫画



ジェンダー・ギャップ指数 (GGI) とは？

詳しくはこちらをご覧ください 😊  
内閣府のホームページへ入ります

誰もが対等に扱われ、社会に参画できる「男女共同参画社会」が、芦屋市ではどのくらい実現していると思いますか。

芦屋市では、管理職（課長級以上の職員）に女性が占める割合は35.5%と、兵庫県内の自治体でトップです。これは素晴らしいことですが、それでも市の目標の40%に届いていません。また、市の部長級以上と市長で構成される定例会議になると、女性は1割強で、男性が圧倒的に多いのが現状です。芦屋市民の男女共同参画への意識は高いと感じますが、行政の現状はより一層の改善が必要です。ちなみに、この『ウィザス』は創刊から29年なんです。この実績は、市として誇れることだと思います。



様々な意思決定の場で女性の比率を高くするには、どうしたらいいでしょうか。

芦屋市の附属機関（※1）のメンバーも男性が多い。理由としては、附属機関は各種団体の会長や副会長により構成されていることが多いのですが、その各団体の「長」に就いている人の多くが男性だからなんです。

先ほどお話しした部長級と市長の会議をはじめ、職員や附属機関には、多様性が大切だからジェンダーの偏りをなくすように、いつも伝えています。

なぜなら、市民の多様な意見を反映するには、社会は男性、女性、性的マイノリティの方など多様な人々で成り立っていることをきちんと理解し、その人たちの思いを反映できるメンバーが意思決定の場に参加していることが重要だからです。

例えば、災害の際に避難所で生理用品の配布が少なかったことなど、男性視点だけでは女性への配慮が足りないことがありました。誰一人取り残さないためには、防災の備品を決める意思決定の場に、多様な要望を反映するメンバーが参加していなければなりません。（右へつづく）

法律や制度、ルールなどを検討する場に、人口の半分を占める女性が参画することが当たり前であるという認識が、社会に浸透してほしい。なぜ、意思決定の場に女性を増やす必要があるのか、という理由をみんなが理解することができれば、女性比率は増えていくのではないのでしょうか。

※1 附属機関とは…行政における政策形成や事業の実施にあたり、専門的な視点や市民視線など、さまざまな視点の意見を市政に反映するために設置された機関。

日本では女性の政治家は少数です。どうすれば増えると思いますか。

一定の比率で人数を割り当てる「クォータ制」も一つの方法ですが、数値目標さえクリアすればそれではよいとは考えていません。

芦屋市には、全国初の女性市長となった北村春江さんがいらっしゃいました。北村元市長のように、まずモデルになるような「一人目」の登場が必要だと思います。そして「一人目」になろうと挑戦する人をみんなが支えること。特に、女性が政治家を目指す場合にはセクハラや票ハラ（票ハラスメント：投票や選挙運動の支援につけ込んだセクハラやパワハラのこと）等、目に見えない困難が多い。相談できる機関・体制をつくり、挑戦しやすい土壌をつくらなければなりません。

さらに、例えば、子育てや介護をしても政治活動ができる仕組みや雰囲気も大切です。鶏が先か、卵が先かという話になるかもしれませんが、挑戦する女性が現れ、周囲がそれを支える環境が整うことで、さらに新たに挑戦する女性が増えていく、という良い循環が生まれるのではないかと思います。

市長がイメージする「男女共同参画社会」とはどのような社会ですか。

理想は、ジェンダーを意識しない社会ですが、講演会で男性のパネラーがズラリと並ぶという場面もまだまだあります。まずは、その光景に違和感を覚えるようになってほしい。職員にもいつもそう伝えています。一足飛びにはいきませんが、一緒に一歩ずつ、進んでいきましょう。



編集委員のつぶやき

恒例の市長インタビューは、選挙運動中はなかなか知ることのできない男女共同参画への考えを質問することができるので、とても楽しみにしていました。高島市長のインタビューでまず感じたのは、多くの引き出しを持っている人だということです。また、マンスプレインニング（※2）なしで女性の声を聞こうとする姿勢も印象に残りました。これからも市民の声を聞き、市政に女性の声を反映してほしいです。一市民として私も女性の声を伝えていこうと思います。（村上）

※2 マンスプレインニング (mansplaining) とは…男性が女性に対し、相手が無知だと決めつけ、見下した態度で説明すること。英語のman (男性) と explain (説明する) を組み合わせた造語。

講座レポート 実施しました！

子どもにモテるパパになろう！

～「生きる力」を伸ばす魔法の遊びと関わり～ 12月2日(土)

信頼関係を築くきっかけ作りとして、子どもにモテる遊び方や、お父さん自身が子育てを楽しむコツなどを学ぶ講座を実施しました。フェイスタオルなどの身近な日用品を使った遊び方や、子どもの心身を発達させるポイントを学んでいただきました。



講師 マジックパパ代表 和田 のりあきさん



● 講座風景 ●

講座に参加したお父さんへのインタビュー  
「子どもにモテるパパを目指したい」  
子どももすごく楽しんでいて、マジックパパの虜になっていました(笑)。身近な日用品を使った遊びを教えてもらったので、家でさっそく実践して、モテるパパを目指したいです。

2児のパパ  
【子どもの年齢】1歳、3歳



親子で学ぶ防災講座  
～アロマキャンドル作り～

2月17日(土)



【講師】元公立学校美術教師 秦 榮一郎さん

災害時には男女共同参画への理解度により総合的な被害の大きさが変わります。災害時にも役立つアロマキャンドル作りや、親子で学ぶ防災ミニ講座を通じて、親子で楽しみながら防災対策を学びました。

デザインツール「Canva」を活用しよう！講座

1月27日(土)



【講師】特定非営利活動法人あしやNPOセンター所属 株本 就子さん

起業や地域活動の広報のために活用したいと考える女性を対象に、デザインの知識や経験がなくても簡単にチラシ作成ができるデザインツール「Canva」の使い方を学んでいただく講座を実施しました。

講座のご案内

男女共同参画センターでは、様々な講座や事業を実施しています。詳細は、広報あしやや芦屋市ホームページ等をご確認ください。

◆ 国際女性デー記念事業 映画上映会  
「チャンシルさんには福が多いね」 申込要

第1回 3月8日(金)  
第2回 3月9日(土)  
時間はいずれも 午前10時～(96分・字幕)  
※同内容にて、2回上映 (定員各回40名)

一時保育あり(要予約)

「国際女性デー」は別名「ミモザの日」

3月8日の「国際女性デー」は、別名「ミモザの日」とも呼ばれています。発端はイタリア。国際女性デーに、男性が女性に感謝の気持ちを込めてミモザを贈ったことから「ミモザの日」として呼ばれるようになりました。今では、ミモザの花は「国際女性デー」のシンボルフラワーとして親しまれています。

同時開催(3月1日～3月15日) / センター1階「展示コーナー」にて 国際女性デーを記念したパネル展示「情報コーナー」にて 図書の特集展示を行います。ぜひお立ち寄りください！



申込方法・最新の情報等はこちら  
芦屋市ホームページ



男女共同参画センター1階の「情報コーナー」では、図書の貸出をしています。ひとり2冊2週間まで、どなたでも借りられます。

※初回登録時には、氏名・住所が確認できる本人確認書類をご提示ください。

# お知らせ

中学3年生を対象に

## デートDV防止授業を行いました

【実施日】令和5年12月19日(火)



若い世代にもっとデートDVについて知ってもらうため、昨年12月、芦屋市立山手中学校3年生を対象に、デートDV防止授業を実施しました。講義や、生徒自身による寸劇を交えた授業により、デートDVは誰にでも起こり得るものであることを認識できたのではないのでしょうか。



【講師】認定NPO法人女性と子ども支援センター ウィメンズネット・こうべ 所属講師

### 授業を受けた生徒の感想

- 今回「デートDV」という言葉を初めて聞きました。身体的に受ける暴力だけではなく、精神的、経済的なもの等もあることを知りました。
- 男の人もデートDVを受けることもあると聞き、驚きました。
- 今、自分がデートDVに関わっていないとしても、これからのために考えることが大事だと知りました。この授業を通じて、相談できるところを知れたので、もし自分がデートDVの被害を受けた時には、一人で悩まず相談しようと思いました。
- 今まで「別にいいんじゃない？」と思っていたことも、デートDVになると聞いて驚きました。何気なく言った言葉が、相手にとっては嫌だと感じたり、辛いと感じたりすることがあると分かり、今後気を付けようと思いました。
- 「気持ちは汗と同じで自然に出てくるもの。大切にしていいる。」という言葉が印象に残りました。自分の気持ちを押し殺して無かったことにしてしまわずに、その言葉を思い出したり、周りの人にも使っていきたいと思いました。

### 避難所には女性リーダーも必要



### 秘密厳守、面接相談、相談無料

「こんなことで…」と思わずに、まずはお電話ください。女性のための相談窓口

予約専用電話 0797-38-2022

【予約受付時間】月曜日～土曜日  
午前9時～午後5時30分(祝日、12/28～1/4を除く)

一時保育あり

要予約

#### 心の悩み相談

女性の抱える生きづらさやさまざまな悩みを、女性の相談員がゆくりお話を聴き、心の整理をお手伝いします。  
第1・第3火曜日  
第2・第4金曜日  
午後1時～午後4時  
(1人50分)

- 一時保育あり(無料・要予約)
- 場合によって日時の変更があります。ホームページやお電話でご確認ください。

#### 家事相談

離婚・養育費・相続などの夫婦・親族間の悩みに、女性の相談員が相談に応じます。  
第3金曜日  
午前11時～午後4時  
(1人50分)  
※調停中の案件不可

#### 法律相談

夫からの暴力や離婚問題、家族関係のトラブルやセクハラなど、法律上の相談に、女性の弁護士が応じます。  
偶数月：第1水曜日  
奇数月：第2土曜日  
午後2時～4時  
(1人30分)  
※1案件1回限り・係争中の案件不可

#### 女性のためのステップ相談(女性活躍相談)

再就労・起業・地域活動をしたいと考えている女性からの相談に、女性のキャリア・カウンセラーが相談に応じます。  
月曜日  
午前9時～午後3時30分  
火・水・金曜日  
午前9時～午後5時30分  
(1人50分)  
※上記以外の時間は、要相談

配偶者やパートナーからの暴力に悩んでいるかへ  
ひとりで悩まず、お電話ください。

### 芦屋市DV相談室 (芦屋市配偶者暴力相談支援センター)

DV相談

相談電話 0797-38-9100

【受付時間】月曜日～金曜日(祝日、年末年始を除く) 午前9時～午後5時30分

秘密厳守、面接相談、相談無料、一時保育あり(無料・要予約)

### ウィザス

No.113

令和6年3月発行(春号)

編集協力

市民編集ボランティア

企画・発行

芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

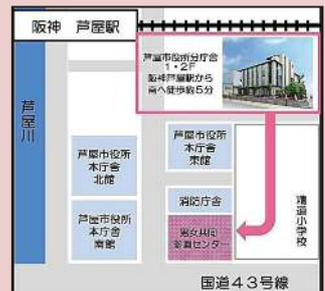
芦屋市ホームページ

〒659-0064  
兵庫県芦屋市精道町8番20号(市役所分庁舎1・2階)

TEL: 0797-38-2023 / FAX: 0797-38-2175

Eメール: josei-ce@city.ashiya.lg.jp

- 開館 月曜日～土曜日・午前9時～午後5時30分
- 休館 日曜日・祝日・年末年始(12月28日～1月4日)



『ウィザス』のバックナンバーはこちら

